

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、14～21℃台を示し、平年並み～かなり高い水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網---月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり19トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣-----スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の43%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり5kgの水揚げで前週を下回った（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり14kgの水揚げで、前週の48%（前年並み）。五島奈留地区では、1日1統当たり0.6kgの水揚げで、前週の30%（前年を下回った）。
- 定置網-----五島有川地区では、シイラなどが1日1統当たり385kgの水揚げ。五島魚目地区では、ソウダガツオなどが1日1統当たり973kgの水揚げ。北松生月地区では、マアジなどが1日1統当たり919kgの水揚げ。対馬西岸地区では、サバなどが1日1統当たり183kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり215kgの水揚げ。
- 一本釣-----北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり157kgの水揚げで、前週2.4倍（前年を上回った）。北松小値賀地区では、ヒラマサが1日1統当たり15kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/20～12/25日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は大和堆周辺海区から太平洋赤イカヘシフト船有り。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～山形沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

次回の漁海況週報は、平成31年1月11日（金）の発行になります。